

災害時避難のガイドライン（地震）



春日市立春日小学校  
 学校運営協議会  
 安全力育成部

避難訓練の日に、読んでお家の人と避難の仕方について話し合しましょう。話し合ったらお家の人にサインをしてもらいましょう。

| 避難訓練     | お家の人のサイン |
|----------|----------|
| 地震の避難訓練  | 月 日      |
| 火災の避難訓練  | 月 日      |
| 不審者の避難訓練 | 月 日      |

地震などの災害は、いつ、どんなときに起きかわかりません。学校にいるときに地震などの災害が起こった時は避難訓練もしていますし、先生の指示にしたがって行動すればよいと思います。また、自宅や家族の人と一緒にいる時は、保護者の人にしがたがいます。でも、もし、放課後や学校が休みの日に、ひとりでいるとき、子ども同士しかいないときに地震が来たらどうしますか？

① **避難** …外にいるときは、しゃがんで、かばんや上着などで頭を守ります。

揺れがおさまったら、周りの状況を確認しましょう。

建物の近くは危ないので、道の真ん中を歩きましょう。

道路が問題なく通れば、ゆっくり歩いて家まで帰りましょう。

家に倒壊の危険がないことが確認できないときは、家の外にいるようにしましょう。

道路が危険で家に帰れないときは一番近い安全な避難所へ行きましょう。

→公園・小学校・中学校・公民館・ふれあい文化センター・

いきいきプラザ・児童センターなど



- 一番近い避難所へ行ったら安否確認のために、名前・学校名・住所・家族の名前などを言えるようにしておきましょう。
- 知り合いの大人の人（先生・近所の人・友だちのお母さんなど）がいたら、一緒にいてもらうようにおねがいしてみましょう。
- 災害に合わせて悪いことをしようとする人も出てきます。知らない人には気をつけて対応しましょう。

ぼく・わたしの避難場所（お家の人と話し合って）は、

[ ]

です。

② **連絡方法** … 家族でよく話し合っておきましょう。

電話が通じなかったり、携帯を持っていなかったり、充電が切れたりすることが考えられます。  
家や携帯電話の電話番号を覚えておくといいですね。

→ **災害伝言ダイヤルの利用が可能**

- 災害伝言ダイヤルには、利用体験日があります。
- 家族で一度練習してみるといいと思います。
- 親戚の家を連絡先に決めておくのもいいですね。  
(家族バラバラの避難所からでも安否を集約できます。)

**災害用伝言ダイヤル 171**

「あの人がいない」でおぼえよう171

- 伝言の録音 **171+1+** 自分の家の電話番号など
- 伝言の再生 **171+2+** 自分の家の電話番号など

このほか、災害用ブロードバンド伝言板や携帯電話各社の権貸用伝言板もあります。

**話し合いのポイント！**

- J 情報…どこが危険でどこが安全か？
- A 安否確認…家族はどんな状態でどこにいるのか？
- S 集まる場所…どこに集まるか？

安全な場所や危険な場所は、被災状況によって変わります。

正確な情報を知って、より安全な方法で避難できるように考えることが大切です。



基本的には、

大雨など水害のときは、高台へ。

地震のときは、地盤が固いところや丈夫な建物へ。



**危険！**

海や川の近く、古い建物のそば、  
斜面の下、崖の下などには  
近づかないようにしましょう



春日市の詳しい防災情報は市報と一緒に配られたパンフレットやホームページに掲載されています。

明日、大地震が来るかもしれない、と思って、家族みんなで話し合いをしておきましょう。

